

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	基礎看護学実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	藤原 祥子 他	実務経験と その関連資格	総合病院にて整形外科・内科病棟看護師長として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>これまで学んできた知識・技術・態度を統合し健康障害を持つ対象の発達段階を踏まえ、身体的・精神的・社会的側面から理解する。患者に必要な援助を明確にし、個別的な看護援助を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>看護技術がみえる 系統看護学講座 専門分野2 基礎看護技術I 医学書院 系統看護学講座 専門分野3 基礎看護技術II 医学書院 看護技術がみえる 臨床看護技術 ① メディックメディア 看護技術がみえる 臨床看護技術 ② メディックメディア</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習前の事前課題、看護過程に取り組む</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
1 日 目	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	・病棟の構造と機能、週間予定・日課などの情報を収集することができる。病棟、病室を見学し患者を取り巻く環境について考えまとめることができる。	病院資料	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマに おける 授業予定	・病院・病棟オリエンテーション ・受け持ち患者とのコミュニケーション ・看護師に同行しての援助の見学、情報収集 ・午後記録			
2 5 6 日 目	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	看護師(教員)とともに、受け持ち患者への日常生活援助の見学と実習計画に基づき実施することができる。患者の日常生活動作を観察し、身の回りの生活行動の援助について考えて実施することができる	各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマに おける 授業予定	行動計画発表 ・情報収集(観察、コミュニケーション) 情報整理 データベース記入 ・受け持ち患者との効果的なコミュニケーション ・バイタルサイン測定 ・受け持ち患者の病態、身体的症状の観察 ・看護師に同行して援助の見学 実施 ・実施した看護援助をSOAPで記録 ・関連図記入 ・カンファレンス (実習を振り返り・実習後半に向け課題を明確にする) ・中間評価 ・午後記録			
7 5 8 日 目	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	看護師(教員)とともに、受け持ち患者への日常生活援助の見学と実習計画に基づき実施することができる。患者の日常生活動作を観察し、身の回りの生活行動の援助について考えて実施することができる	各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマに おける 授業予定	行動計画発表 ・情報収集(観察、コミュニケーション) 情報整理 データベース記入 ・受け持ち患者との効果的なコミュニケーション ・バイタルサイン測定 ・受け持ち患者の病態、身体的症状の観察 ・看護師に同行して援助の見学 実施 ・実施した看護援助をSOAPで記録 ・関連図記入 ・カンファレンス ・午後記録			
9~ 11 日 目	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	看護師(教員)とともに、受け持ち患者への日常生活援助の見学と実習計画に基づき実施することができる。患者の日常生活動作を観察し、身の回りの生活行動の援助について考えて実施することができる	各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む	
		各コマに おける 授業予定	行動計画発表 ・情報収集(観察、コミュニケーション) 情報整理 ・受け持ち患者との効果的なコミュニケーション ・バイタルサイン測定 ・受け持ち患者の病態、身体的症状の観察 ・看護師に同行して援助の見学 実施 ・実施した看護援助をSOAPで記録 ・関連図記入 ・カンファレンス ・午後記録			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
12 日 目 実 習 形 式	授業を通じての到達目標	看護師(教員)とともに、受け持ち患者への日常生活援助の見学と実習計画に基づき実施することができる。患者の日常生活動作を観察し、身の回りの生活行動の援助について考えて実施することができる	各テキスト	事前課題、看護過程に取り組む
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 行動計画発表 ・情報収集(観察、コミュニケーション) 情報整理 ・受け持ち患者との効果的なコミュニケーション ・バイタルサイン測定 ・受け持ち患者の病態、身体的症状の観察 ・看護師に同行して援助の見学 実施 ・実施した看護援助をSOAPで記録 ・関連図記入 ・最終カンファレンス 基礎看護学実習Ⅱでの学び 意見交換 ・午後記録 		

